

竹原市の財政状況

平成20年度の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算、平成20年度決算に基づく健全化判断比率、平成21年度上半期の一般会計及び特別会計の歳入歳出予算執行状況をお知らせします。

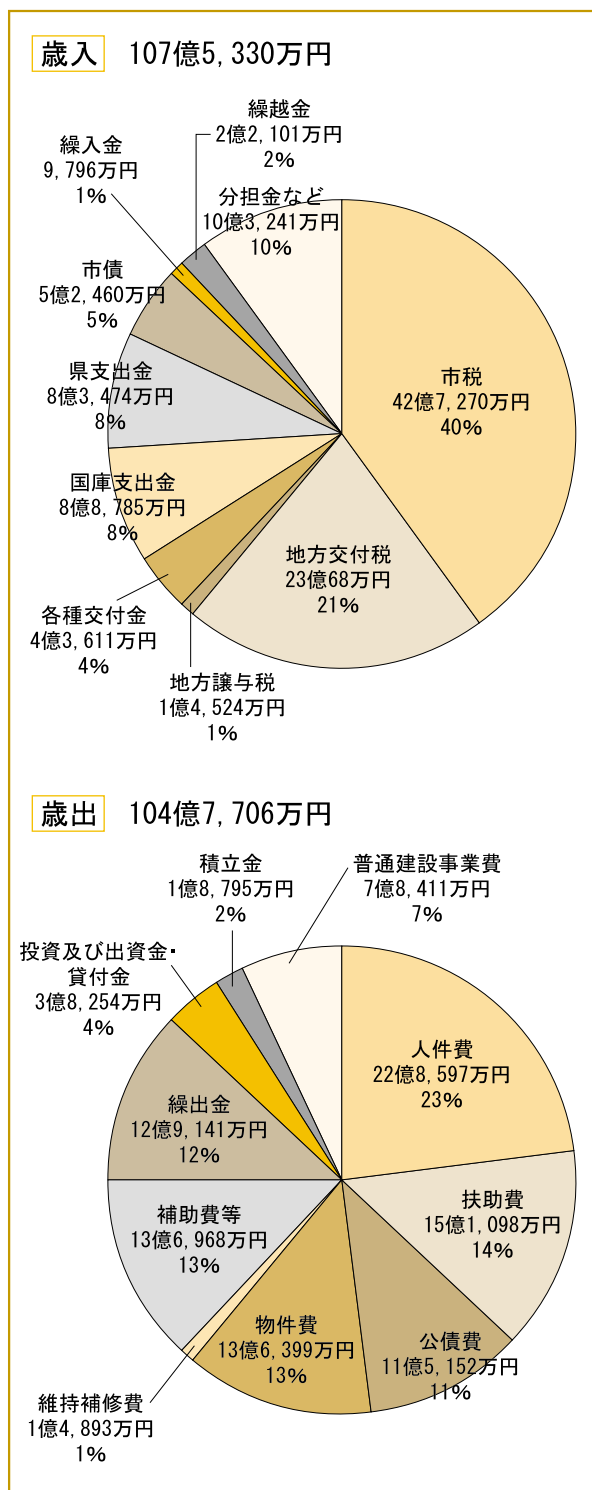
単年度収支の改善

一般会計歳入額は107億5,330万円（収入率93・1%）、歳出額は104億7,706万円（執行率90・7%）で、翌年度へ繰り越す額を除いた実質収支は2億5,184万円の黒字となっていました。実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は3,296万円で、前年度から8,473万円改善しました。

歳入歳出の増減と財政の弾力性

歳入では、市税収入は前年度に比べ1,231万円（0・3%）減少しましたが、地方交付税収入が3億7,474万円（19・5%）増加しました。歳出では、人件費が2,126万円（0・9%）、扶助費が1,110万円（0・7%）、公債費が7,054

▼図1 一般会計の決算状況



基金残高の増加と市債残高の減少

収支改善に伴い基金の取り崩しが減少し、積立金が増加したため、基金残高は31億2,221万円となり、前年度に比べ9,052万円（3%）増加しています。また、地方債残高は前年度に比べ4億4,138万円（4・7%）減少し、90億1,952万円になりました。（表1）

税の増加を主な要因として、前年度に比べ4・9ポイント改善しましたが、依然として厳しい数値となっています。

特別会計決算の状況

特別会計決算の状況は、表2のとおりです。なお、老人保健特別会計の赤字額は、繰上充用して補填しています。



▼表1 基金残高と市債残高の前年度比較表

	平成20年度	平成19年度
基金残高	31億2,221万円	30億3,169万円
市債残高	90億1,952万円	94億6,090万円

▼表2 平成20年度の特別会計決算

会計名	歳入	歳出
貸付資金	1,270万円	1,270万円
港湾事業	5,791万円	5,190万円
国民健康保険	38億3,934万円	35億4,547万円
老人保健	4億5,995万円	4億6,111万円
公共下水道	5億6,116万円	5億6,116万円
介護保険	30億2,083万円	29億3,910万円
公共用地先行取得	0円	0円
後期高齢者医療	3億6,640万円	3億6,545万円

健全化判断比率は基準内

財政健全化法により公表が義務付けられている健全化判断比率は、表3のとおりです。

健全化判断比率には、それぞれ早期健全化基準及び財政再生基準が設けられており、これらの基準を上回る自治体は、財政健全化計画の策定などが義務づけられます。竹原市は4つの指標のいずれも、基準を下回っています。

平成21年度上半期の歳入歳出予算執行状況

平成21年9月末現在の一般会計予算は、134億9,879万円で、収入済額は58億2,962万円（収入率43.2%）、支出済額は51億4,583万円（執行率38.1%）

実質赤字比率…普通会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率

連結実質赤字比率…公営事業会計を含めた実質赤字額の標準財政規模に対する比率

実質公債比率…公債費及び他の会計の公債費に充てるための繰出金・負担金等の標準財政規模に対する比率

将来負担比率…今後負担すべき地方債や退職手当等の額から基金残高や交付税算入見込額を差し引いた額の標準財政規模に対する比率

標準財政規模…標準的に収入する「経常一般財源」の額で、標準税収入、地方交付税及び地方譲与税の合計額

▼表3 健全化判断比率

健全化判断比率	平成20年度指標	平成19年度指標	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	(14.08)	(20.00)
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	(19.08)	(40.00)
実質公債費比率	11.8	12.2	(25.00)	(35.00)
将来負担比率	54.00	68.20	(350.00)	基準なし

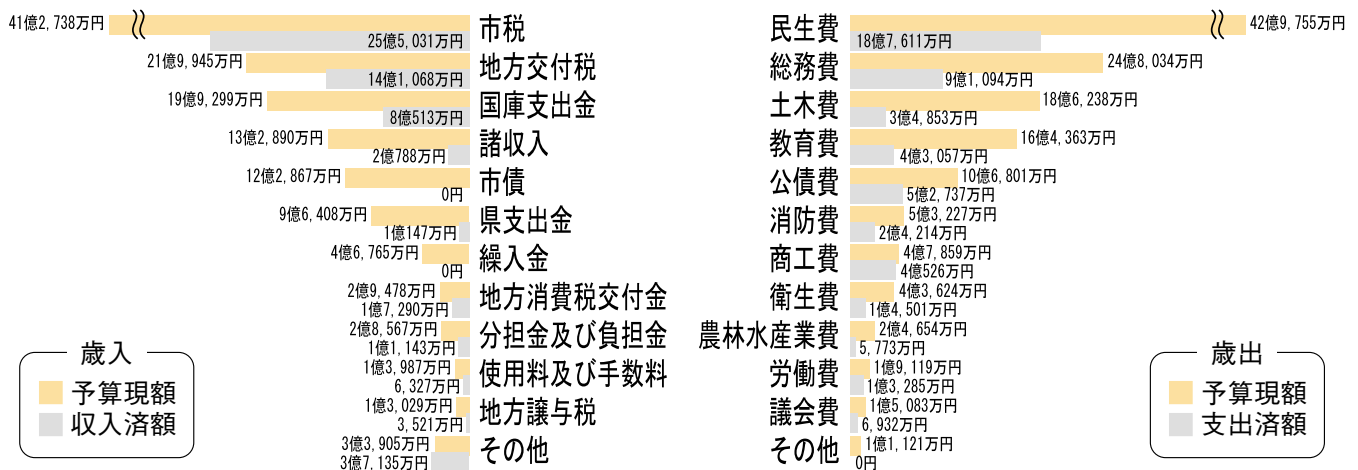
となっております。一般会計の款別予算執行状況及び、各特別会計の予算執行状況は、図2・表4のとおりです。

持続可能な財政運営に向けて

昨秋以降の景気後退や、雇用情勢の悪化の影響を受けて、市税収入は減少し、一方で、少子高齢化に伴う社会保障関連経費や老朽化した施設の維持費等の経費は増加することが見込まれます。引き続き厳しい財政状況にありますが、本年度新たに策定した総合計画に基づき、「住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市たけはら」の実現に向け、持続可能な財政運営を図ります。

決算概要は竹原市ホームページにも掲載しています。

▼図2 平成21年度上半期の一般会計の予算執行状況



▼表4 特別会計の予算執行状況

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
貸付資金	1,501万円	530万円	35.3%	926万円	61.7%
港湾事業	5,517万円	2,440万円	44.2%	1,965万円	35.6%
国民健康保険	35億8,591万円	14億5,065万円	40.5%	15億1,703万円	42.3%
老人保健	1,898万円	60万円	3.2%	157万円	8.3%
公共下水道	6億8,708万円	993万円	1.4%	2億1,765万円	31.7%
介護保険	30億2,013万円	12億3,651万円	40.9%	12億5,067万円	41.4%
公共用地先行取得	1千円	0円	0.0%	0円	0.0%
後期高齢者医療	3億8,290万円	1億1,905万円	31.1%	1億6,679万円	43.6%

問い合わせ 財政課財政係 ☎22-7731

水道事業会計

平成20年度の決算

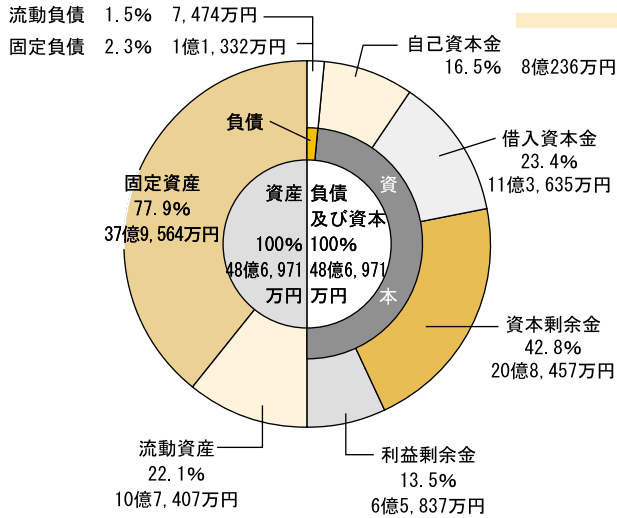
●収益的収支（消費税込額）

収入総額7億8,297万1,157円に対し、支出総額7億6,509万6,322円で差引当年度純利益1,787万4,835円となりました。

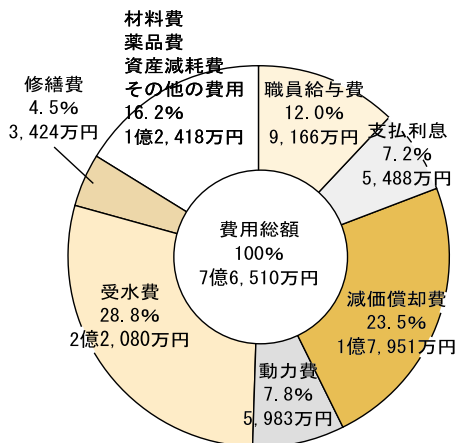
●資本的収支（消費税込額）

収入総額2,267万8,556円に対し、支出総額2億4,384万2,782円2億2,116万1,722円の不足を生じたので、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。

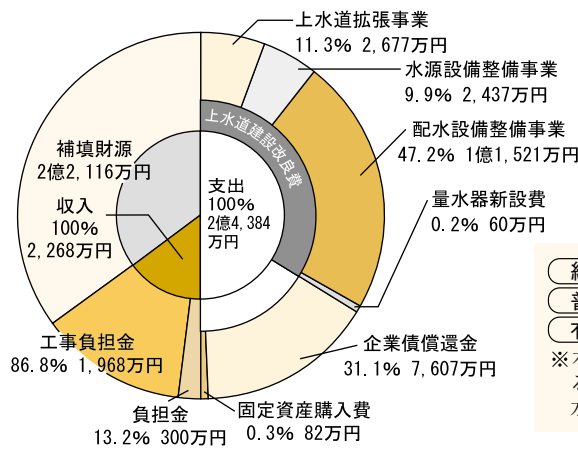
財政状況



費用構成表



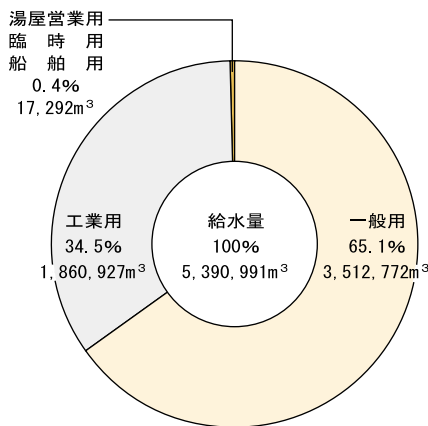
資本的収入及び支出の状況



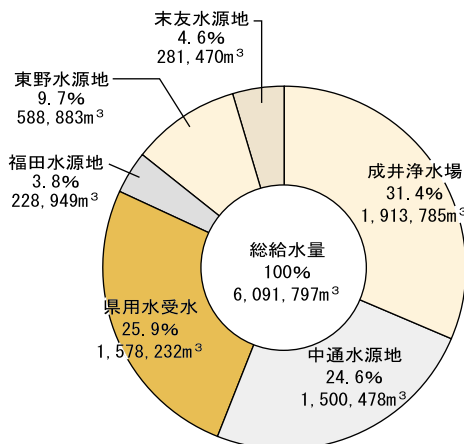
給水戸数	12,778戸
普及率	99.0%
有収率	88.5%

※有収率とは給水量に関する料金として回収された水量の比率

用途別給水状況



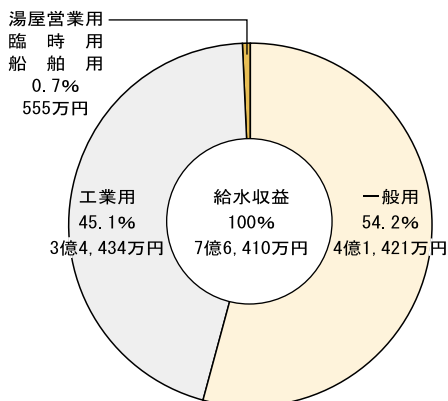
水源地別年間給水量



言葉の豆事典

- ①収益的収入
水道の給水に関わって得る収益。水道料金、分担金、手数料など
- ②収益的支出
水道を給水するための経費。施設維持管理費。人件費など
- ③資本的収入
施設の建設改良費に充てるため借入れた企業債や、国の補助金など
- ④資本的支出
施設の建設改良費、企業債の償還金など

用途別給水収益状況



平成21年度水道事業会計上半期の予算執行状況

収 入	区 分	支 出
8億0,630万円 3億6,588万円	収 益 的 収 入	7億7,955万円 2億4,944万円
1,269万円 0円	資 本 的 収 入	2億9,807万円 5,131万円

問い合わせ 水道課庶務係 ☎22-7768